

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

12 ←
13 ←

(二) 各作業所ノ製造分野ノ決定等生産ノ合理化ヲ図ルニ件

某山技師長ヨリ本内題ノ主トシテ付テ左ノ通り説明アリ

「貴社ハ各社合同ノ結果設クセヨシタル閣下上各作業所

ニ各様ノ設備アリ此等重複設備ノ廃止或ハ私行

寸法ノ分野決定等ニ依リ生産ノ單純化乃至合理化ヲ

計ルハ今後ノ増産計画ト閣下之業務ナリト思考セ

ラル此ノ案ニ付テ各位ノ御所見ヲ承ヘリ度シ

自由討議ニ入り

1. 十二粒丸鋼ノ製作ノ大場(直中ノ案)

2. 鋼ノ津ト大形製作寸法ニ関シ分野ヲ決定スル

案

ハ、釜石ノ大場及大鉄諸中型工場ノ製作寸法ニ関シ

分野ヲ決定スル案

二、厚板ニ関シ大場ヲ於テハ主トシテ耳付鋼板ノ製作

トト製鉄株式会社

日本製鉄株式會社

この大段製鉄のこじやりの設備の設け方の切迫の上
配給の不安

未、製鉄の製法を改良して右作業所共製鉄の
製鋼の両種の製法を同一の不安理の辯解を要す、
等ノ意見が出たが

(1) (2) の二種を

の、右の規模は、海軍、陸軍等諸官への輸送の
問題の解決に之が解決せしむる限り、右の輸送
の不安は能たらん

の、不安は、右の各作業所間の公平な運送の分配等
の、問題の解決に、右の問題を生じ、恐しあり。

の、運送の問題は、地域的利権の利用を遺憾なくあり
の、右諸点より徹底したる方針の決定乃至、右の
の、後、運送の問題は、困難な問題ナリト、懸念あり

達し將來設備を増設する場合に於て通定を考慮
する外ナシトノ意見ニ一致セリ

(二) 致テハ

の各在要線ナリ能率ト上ニシテ又使用者ノ便宜ニ
考フルモ各案ト考へるに以テ更ニ考究ト上ニ
案ヲ提出ス

(三) 致シトモハ暢ニ於ケルニヤリ之ノ設備ハ現在甚カ不
足セル理、状ニテ造船界ノ隆盛ナル今下ニ増設ハ
急ニ要スル以テ不取敢ハ暢ニシヤリ之ノ設備ノ増
設ノ早急實現スル概ノ手續ヲハキニトテ申立セリ
(四) 致シテ蒙造方面ノ決定ハ鑛石等ノ増産ニ
不ヲ能ハシ終端ニ達シタリ

(三) 將來に於ける船舶の増設に之が対策を固スル件
岡山林師長より本問題の主眼を付与する如き説明あり

日本製鉄株式会社

日本製鋼社 三會派

「老社」計画委員会の鋼材需要は十年後二五
 百万吨を達するものと豫想し下増産計画は樹立す
 るに鋼材の増産は鋼材需要増加の如何に依りて
 如何なる設備の増設を必要とするか決定せ
 るに依りて又、之が主要問題としてあり
 更に是れは鋼材の増産に依りて鋼材の増産
 計画の如何なるか之に依りて鋼材の増産
 の如何なるか之に依りて鋼材の増産
 此の二点に依りて鋼材の増産は如何なるか
 先づ鋼材の増産は如何なるか
 鋼材の増産は如何なるか
 鋼材の増産は如何なるか

(一) 鋼材の増産 (今後作業部長説明)

五、六十万脱、能力の有る分、據り、九の設備之に依り、得る鋼片を左に扱ひ、右を分す											
五十	四十	三十	二十	十	五	二	一	〇	〇	〇	〇
ヲ	中	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

(二)、八幡案、水災、鋼板、部は、設成
ハ、備、ノ、方、渡、設、備、を、全、部、石、に、移、讓、シ、販、売、初、年、案、中、ハ、
全、部、石、に、シ、テ、仕、終、セ、シ、ム

日本製鐵株式会社

日本標準規格 B5 (182×257mm)

日本製鋼株式会社

ハ協工場の優劣は鐵力板の設備の増設ス

〔説明〕

鐵力の需要は昭和九年に於て約一七五噸ヲアツカ
年々一割以上ノ増加ニ至リ且輸出市場ノ開拓ヲ
考慮スルハ此ノ外埠ノ將來世に事業ヲアツト考ヘテ
先んじて此ノ社現在ノ設備ハ年々十萬噸ニ過ギ且社外
工場ノ左ニモ七三、四萬噸ヲ出テナイカアツルハ

即カ此ノ高ノ望ム所眼シ且此諸々之鐵力工場新設
ノ計画ハ傳ヘテ斗ハテ此社トシテハ一日ニ早ク優
美ナル設備ヲナシ需要ヲ満足スト共ニ新設工場ノ階
段ヲ防止スルハ要カント考ヘシ

私ノ抱懐シテ斗ハテ此ノ大要左ノ通りモカアル
ストリッポ式ニ依ル

年々生産能力 二七六萬噸

電力	十	円
其他鋼材	十	六 百 円
建設費	級	千 二 三 百 円
工事期間	二	年
完全作業	建設後	二 年

而して之のヤルニハハ暢工場以外ニハナイト思フ、其理由ハ

不、優劣ナシ故新者ヲ必要トスルニト

ハ、ハ暢ナリハ建設費が安便ヲムムト即チ取用

鋼片工場ノ利用スルニトニ依リテ工場ノ新設

スルニトナリテ略スル

ハ、生座費が低廉ナルニト即チストリノ方式ノ作業

ニ依リトナリテ一紙ナリシハ五匹キルワトノ電力ヲ

要スルガハ暢ナリハ電力ノ比較的安便ヲ得ルニ

日本製鉄株式会社

-0-

日本製鋼社 三會 廉

之等ノ点ヲ綜合シ一日ニ早クハ物工場ノ鐵力ノ新設
備建設ヲ希望スル
因ニ米國ヲ除ク諸外國ノ此ノ方法ニ存テイル所ハ英
國ニ一ヶ所存ル外最近獨ニテ二ヶ所計畫シテ并ニ
大ナル

決
定

種ノ協議ノ結果本會議トシテハ左ノ通り希望スルコト
ニ定見ノ一致ヲ見タリ

ハ、全社ニ分擔スルヲ設ケハ物ヲ買取ル向平氣子ノ
移讓スルニテ増産力ノ新設備ヲ増設スルコト

ハ、ハ物工場ノ鐵力ノ新設備ヲ増設スルコト
此ノ力ニ増産力ノ新設備ヲ増設スルコト

結果

將來ノ需要増加が如何なる程ニ存テ起ルカヲ豫測

スエトハ困難ヲ式特種ノ物ヲ除イテハ全面的ニ考
加スルト云フ外ハナイアアウトノ見解カ多数ノ存ニ
是迄ケラシク
其他各位ヨリ述ベラシク是ノ列強ニト左ノ通り
アリ

不、紛争ハ各板ト共ニ輸出ノ手配ヲ占ムルモノ今後
更ニ此ノ方面ニ發展シテユク可能性ヲモテキルモノ
アハナカロウカ、当社ノ紛争工場ハ可成沢イモノテ
アハカク武ハ取り換ヘン意味アリ更ニ今年ニテ
ノ工場ヲ新設スル必要カアラウ

（早山技師長 山縣監理部長 井村技師部長

北村技師部長）

口、各板ノ工二入リサレハ如何トノ程字未（監理部長）

ニ対シ永者鋼板部長ヨリ

日本製鐵株式会社

日本製鋼社 重慶

将来考慮ス下キ問題アリ
 廣縁工事(H型)ヲ作テトウカ(造理部置)
 需要カ下ノ位アルカ方又ガ現存ノ設備ヲハ不
 能トドウシテモ新設備ヲ作ラズトスルナリ又或ハ新
 設備ヲ作ラザルモ需要カアルトシテモ現存山形ナリ
 工形ナリノ需要カ代ルノ代ハ何モナリ(岡山)
 技師長(岡崎條部置)
 二、特殊鋼ノ将来性ニ就テ製造販賣ニ関シモフト
 カノ入ルニ特通者ナラズ考慮ニタシ
 假令原料トシテ販賣セズ為平トシテ供給スルコトハ
 スル(販賣部置)
 特殊鋼ノ製造ノ年ナリ為圧延工場ノ能
 力下下ナルノコトヲ中販賣ノ製造ト一諾アル
 技師長 面取ナリ

従事してより原料の取立してイ、ト思フ(岡崎係)

数量が相違量アル特殊鋼を延工場より送付して

イ、澤外(長師長)

更ニ研究して御報ヒスル(取立部長)

ホ、鋼管の製造してイ、私何(造理部長)

之ニ対してイ、別ニ具作の意見ノ交換ナシ

ハ、高級鋼板工場の新設サレタガ比、(方面)に必要

ト思ハル更ニ増産計画スルニ必要カランカモ知シ又

(取立部長)

ワ、存シ思ハル更ニ研究シタリ(鋼板部長)

ト、被布の鉄之代に將ニソレトイ、ト思フ(造理部長)

兼ニ陣テカニ作ワタコトカラン(兼ニ陣)

日本製鐵株式会社

18580000

鐵力板 鐵力板 鐵力板

鐵力板 鐵力板 鐵力板 鐵力板 鐵力板

取之 = 2.7 7 8 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20
取之 因心 = 9 級 2 級 (C 級) 的 厚 5 元 1 角 9 分
2 心 鐵 少 2 心 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20
在 貨 物 (Barakat) 100 封 裝 , 鐵 力 板 = 控 算 2 7
其 1 路 費 是 7 元 5 角 1 分 即 4 角 1 分 路 費 是 1.100 封 裝
へ 又 = 控 算 2 7 封 裝 1 板 = 7 才 1 3 - 24 kg 2 元

	取回期	才五期	十年記
才一鐵力	21.515	21.925	21.832
才二	21.688	21.963	21.832

日本標準規格 B 5 (182×257mm)

東京大学経済学図書館蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料

日. 亞. 十森村出張誌

11. 8. 21.

①

考種 / 計測

中 / 範囲

2 倍良

19-95% 4PR 100%

M. 1st, skip milk 1 場定 19-95% 1 = 85% y

2 2 ~ 元, ... 111 1st = 3x ~ 7 = 2. 14 1st, 1st 3 + 1

3 + 2 ~ 中 y 1st ~ 95% 1st y, 最良 2 倍良

90% 90% 90% + 1 1st 1st 92% 1st 1st 1st

95% 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st

Molar y 300 H. = 取 1st 1st 1st 1st 1st 1st

90% ~ 100% 90% 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st

1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st

1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st

1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st

1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st

1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st

1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st

1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st 1st

自大正十二年至昭和七年丸鋼八一又價格

年	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
昭和七年	81	77	75	75	74	71	69	65	56	55	58	57	59
昭和八年	86	87	87	89	90	96	95	90	88	85	84	83	84
昭和九年	92	92	91	89	89	84	86	86	87	85	85	86	85
昭和十年	102	102	98	98	98	97	97	90	88	84	86	87	93
昭和十一年	116	116	108	108	108	97	97	97	90	88	84	87	93
昭和十二年	114	124	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	114
昭和十三年	114	124	140	140	141	124	124	124	124	124	124	124	127
昭和十四年	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114

日本製鐵株式會社

昭和七年及以前丸鋼八一又價格
昭和八年以後丸鋼八一又價格